

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年6月号(第160号)

発行責任者 中原 幹男

第3回「民話の由来地めぐり」 2022・5・20



所沢駅
集合・解散

とんぼの宿り

河童の詫び証文

秋津ふれあいパーク
バラ園

写真撮影：仲山 富夫

～ 5月20日「第3回民話の由来地めぐり」は30名の皆さんと新緑の中を散策しました。～

由来地で心を込めて民話を語りました

- ① 日月神社(じつげつじんじゃ)、所は北秋津
由来の神木は榎ですが、残念ながら枯れ木でした。
境内で「とんぼの宿り木」を語りました。我儘殿様と村人たちの会話が楽しく、皆さんから笑い声があがりました。因みにアキツはトンボのことだそうです。
- ② 持明院(じみょういん)、七福神の恵比寿様が迎えてくれました。
蛇行する柳瀬川の通称曼荼羅淵を竹林の間から望みながら、「河童の詫び証文」を語りました。会員の熱演に笑い声があがりました。
持明院には曼荼羅堂があります。特別に開けていただき菩薩さまを拝顔しました。また、可愛い河童の置物も見せていただきました。
- ③ 秋津ふれあいパークの薔薇園はちょうど見ごろを迎えていました。こちらで休憩をさせていただきました。お菓子がおいしかったですね。
- ④ 所沢市と東村山市との境の橋「二柳橋」の下を、北東に流れる柳瀬川は遠く志木市で新河岸川に合流します。
- ⑤ 終着点所沢駅へ。二時間半の和気あいあいの散策でした。「4回目はありますか?」「え!」

※民話二編、会員による由来地での語りは普段に増しての熱演でした。

民話の会：仲山 富夫 記

乱世の裏舞台で武將を支えた女たち

～講演に先立って思うこと～

講師 竹内 好夫(観世流謡曲名誉師範)



今回の「文芸・歴史講座」は、平安末から鎌倉の動乱期を生きた郷土の武將として、比企能員と木曾義仲を取り上げます。二人は共に血みどろの乱世を生きながら、志半ばで歴史から無念のうちに退場した人物です。その実際は講演の

中でお聞きいただきますが、ここで注目していただきたいのは、男たちの権謀術数や凄絶な死闘の陰で、安寧や親愛、鎮魂を求めて静かに闘っていた女性たちがいたことです。

源頼朝は保元の乱で初陣し、父や兄と共に京から敗走する途中で捕らえられ、平家の六波羅に拘束されますが、斬首刑に処されるべきところ、平清盛の継母池禅尼の嘆願で助命されました。20代で病没した禅尼の息子・家盛に頼朝の容姿がよく似ていることからの嘆願だったといえます。その結果頼朝は伊豆配流となり、狩野川の湿地で20年を過ごしました。

流刑地での頼朝を長年にわたり物心両面から支えたのが埼玉・比企郡の「比企の尼」(剃髪以前は「比企の局」)でした。尼の夫・比企遠宗(とおむね)は比企郡を領した源家譜代の豪族で、頼朝の父義朝の御家人を務め、頼朝が生まれると比企の尼は義朝から「乳母」役を命じられました。当時の乳母はその子の生活全般に深く献身し、実母以上に緊密な関係でした。頼朝による鎌倉開幕の陰には比企の尼の実に20年に亙る支援があったのです。

比企能員を頂点とする比企一族が繁栄の極みに差し掛かった時に、北条氏は突然能員を謀殺し、その日のうちに比企館を急襲、一族は滅亡します。本来なら父の第二代將軍頼家を継ぐべき嫡子「一幡」は乱後の比企の屋敷跡から焼死体で発見されます。焼け残った着衣が菊花模様の小袖だったとの乳母の証言が決め手となったのです。一幡の母若狭の局は、我が子を殺された上に病気の夫頼家が修善寺に幽閉され、これに付き添いますが、翌年夫が北条氏によって殺害されると位牌を抱いて比企郡に戻ります。祖母比企の尼が隠棲する比丘尼山(びくに

やま)で夫の菩提を弔い寿昌寺を建立します。これが後に移築された現在の「宗悟寺」で、ここに頼家の位牌が納められています。若狭の局が夫頼家への想いを断ち切れずにいる時、祖母の比企の尼の勧めで、夫頼家から贈られた形見の櫛を沈めたと伝わる「串引沼」が、比丘尼山の隣接地にあります。

一方、人質として頼朝の元に送られた源義高(木曾義仲の嫡子)は、殺害される前に頼朝の息女大姫の助けで逃走しますが、途中入間河原で殺されます。狭山市の国道16号線の傍らにある「清水八幡」には清水冠者義高が祀られています。その母である山吹御前は、義高供養のため嵐山に班溪寺を創建したと、寺の梵鐘に刻まれています。山吹御前と共に木曾義仲に従って京まで出陣した巴御前は、木曾山中で幼少期から義仲と共に育ったいわば乳兄妹でしたが、琵琶湖畔の栗津で敗色極まった義仲と一緒に死のうと進言するのですが、義仲から女であることを理由に拒絶され、巴は無念を忍んで武具を捨て、戦場を離れてゆきます。

紙幅が尽きました。NHKの大河ドラマでも、他に多くの女性が登場し活躍していますが、中でも頼朝の妻・北条政子、その妹・阿波の局、比企能員の妻・道、北条時政の後妻・りく、後白河法皇の寵姫・丹後の局、など多彩な役どころです。とりわけ頼朝の死後尼將軍として幕府を切り盛りする北条政子の存在は、今から大いに注目されます。

今回お話をさせていただく内容が、日本の変革期を必死に生きる人間ドラマの理解に少しでも役立てたら嬉しいと思っております。



比企の館があった妙本寺(鎌倉市)

ところざわ倶楽部まつり 第2回

9/29

を開催しましょう！

会長 中原 幹男

倶楽部15期方針は、「明るく楽しく元気を取り戻しましょう！」です。この2年間は、新型コロナの流行のため、やむをえず「まつり」開催を見送ってきました。世界での感染状況や対策は、まだまだ予断を許しません。日本はワクチン接種が進み、オミクロン株感染のピークからだいぶ落ち着いて来て、with コロナの社会活動が定着してきています。

4月の理事会以降、「まつり」の開催に向けて、各サークルに参加の意向をたずねたところ、予想外にほとんどのサークルから参加の回答をいただきました。コロナで長い間活動の自粛を強いられ、マグマのように溜まってきた「何とかしたい」というみなさんの熱いエネルギーを感じているところです。

3年前に利用した松井公民館が、9月から長期修繕に入るため使用できないのですが、幸い、中央公民館ホールを9月29日(木)1日借り切る予約ができました。これから、どのような「まつり」にしていくのか、前例にこだわらず、みなさんからの新しいアイデアで創り上げ、一緒に盛り上げ楽しむイベントに仕上げたいと思います。どんどんご意見・アイデアを理事・理事会にお寄せください。

《 2018年 》

《 2019年 》



ところざわ倶楽部 一般市民の方のご来場「大歓迎!!」

第6回文化祭

緑を輝で装い楽しく館を重ねよう!

日時: 9月6日(水)10時~16時
会場: 中央公民館ホール

展示(作品)部門

展示: 16時

舞台(発表)部門 12時 12時20分

- 1 民謡の会(物置の民謡 1) とんぼの唄り水 2) 両あそびのまつり
- 2 スマイルパレード(アタゴ!ブレイクダンス)
- 3 野鳥の会(おもしろい鳥の歌)
- 4 おもしろいお祭り(おもしろいお祭り)

その他: 1) 花の会(花の会)

その他: 1) 花の会(花の会)



ところざわ倶楽部

第1回 ところざわ倶楽部まつり

所沢市民大学OBが一般公開するまつりです
みんな来て見て一緒に楽しみましょう!!
舞台・展示・大抽選会があります

日時: 2019年9月25日(水) 9:30~16:30
場所: 松井公民館ホール&ギャラリー

演目

☆舞台部門
チアダンス コーラス 朗読劇 民謡の語り 雑樂風音楽演奏 同級会音頭
機嫌問診講演 サークルの活動発表
特別出演 音楽療法士/佐井佳代子氏「会場いっぱいみんなで歌おう!」
大抽選会

☆展示部門
個人展示(書 画 陶芸 彫刻 写真 生花 俳句 川柳など各種)
サークル展示(ところざわ倶楽部12サークルの紹介など)

昨年の文化祭風景

主催: ところざわ倶楽部(会長 佐藤重松 090-5412-5760)
後援: 松井地区自治連合会(46自治会・町内会)
所沢市社会福祉協議会
松井地区/西&東包括支援センター
飛脚の会(保健センター・ナイスミドル講座OB会)

ところざわ倶楽部ホームページ
<http://www.tokorozawaclub.com>

2050 ゼロカーボンシティ所沢を目指して ～市民が動き始めた～

地球環境に学ぶサークル 中原 幹男

2020年10月、当時の菅首相が2050年までにカーボン・ニュートラルの実現を目指すと宣言し、11月には所沢市藤本市長が「ゼロカーボンシティ所沢」を表明しました。これを受けて、「所沢の明日を考える市民フォーラム」「地球環境に学ぶサークル」「所沢市民ソーラー」の3市民組織は、“所沢市民による、所沢市民のための、所沢市民の「ゼロカーボンシティ」”実現に向けて、昨年12月から、世代を超えたディスカッションを開始しました。



◆ 2021年12月5日(日) 新所沢公民館 「ストップ! 気候危機討論集会」を開催し、世代や立場を超えた42名が、スピーチ&パネルディスカッションを行いました。学生、Z世代、子育て世代、シニア世代、事業者として生活クラブ役員、市議、市長、まちごとエコタウン推進課など、幅広い立場の方々が参加し、それぞれが気候危機と「ゼロカーボン」に対する取り組みの意志を表明し、問題の共有ができ、次回へ続く運動の起点となりました。

・参加した子育て世代上田マリノさんのメッセージ

同世代のみなさんへ「年長者とつながり先人の知恵と現代のアイデアで、この難局を乗り越えよう」

シニア世代のみなさんへ「ぜひ行動する若者をサポートしてほしい」

◆ 2022年4月10日(日) 小手指公民館分館 「ストップ! 気候危機」で所沢の未来をみんなでつくろう市民会議準備会」を開催し、若者世代、市民組織メンバーや、市議、県議、衆議院議員も交え、みな個人として参加した47名が6グループに分かれ、環境問題意識や取組み、今後の課題などをフリーに討議しました。



・子育て世代上田マリノさんが作ってくれた呼びかけ

「所沢の未来を、所沢の環境を、所沢の人が考える日」

春の芽吹きを喜び、夏は蝉の声を追いかけ、秋は木の実あそび。冬の澄み渡った空を5歳の娘と見上げ、この子の未来に思いを馳せる。家族と季節を楽しみ、友人と喜びを共有したい。こういった素朴な願いが徐々に叶えられなくなるのでは…と近頃感じています。

危険な暑さ、集中豪雨、海外の熱波・山火事など、近ごろ何かおかしいなと思うことはありませんか? 「地球環境」というと少し大きな話に聞こえるかもしれませんが。でも、おうちの電気のこと、食べ物のこと、ごみのこと、そういった日々の私たちの暮らしが、足元の行動が、地域の環境につながり、日本の環境、地球の環境につながっています。



【所沢市民ソーラー会報14号から引用】

「世界の平和を考える」
シリーズ 第12回

沖縄復帰50年で思うこと

～米軍基地問題～

福本 健一

■はじめに

ロシアのウクライナ侵攻により安全保障環境が大きく変わろうとしています。この様な中で先般、沖縄復帰50年の式典が開催され、沖縄に関する色々な課題が報道されていましたが、最大の課題は米軍基地の問題です。

1970年前後の学生時代に同じサークルだった沖縄出身の友人や仲間と「70年安保」「沖縄返還」「ベトナム戦争」について議論をしたことを思い出します。今回、改めて沖縄の基地問題は日米安保条約と平和の問題である事を強く感じています。



【普天間基地オスプレイ (日経 21/4/16)】

■切り捨てられた沖縄

報道の中で50年前の復帰式典の様子に写る昭和天皇を見て、6年程前に読んだ佐藤優著「使える地政学」の中で昭和天皇と沖縄の関係の文章を思い出しました。その中で沖縄は昭和天皇に3回切り捨てられたと言われています。最初は1945年2月に近衛文麿が早期に講和を天皇に進言したが、天皇は「今一度戦果を挙げなければ実現は困難」との見解を示したと言われ、その結果が「沖縄戦」に続き、日本防衛の「捨て石」になったのです。2回目は1945年7月ソ連に和平交渉の仲介を依頼しようとした際の和平交渉案では「沖縄・小笠原島・樺太を捨て、千島は南半分を保有する程度とする。」と沖縄の放棄を示したのです。

3回目は敗戦後1947年9月に米側へ「25年から50年あるいはそれ以上」沖縄を米軍による軍事占領の継続を希望したと言われる「天皇メッセージ」の存在です。

■無視され続ける沖縄

1972年の復帰にあたっては「核抜き・本土並み」が議論されていたことを思い出しますが、未だ本土並みの実現が無視され続けています。2016年12月オスプレイが名護市の海岸に墜落。また、今でも米軍人等による刑法

犯罪が多数発生しており、特に1995年には小学生の少女が米兵3人に暴行された事件は記憶に残っています。

加えて生活への影響が懸念されるのが騒音・環境問題であり、航空機騒音は環境基本法の基準値を大幅に超過しており訴訟が続いています。基地内からは航空燃料等の流出による水域の汚染や最近では普天間基地周辺の河川から有機フッ素化合物が高濃度で検出され基地内の調査も認められず国内法も及ばない状況です。

国は多くの事故・事件等の発生にも拘わらず県民の人権・安全・健康を無視し続けているのです。

■辺野古新基地の建設

現在も沖縄県には米軍専用施設の70%が存在しており、普天間基地が世界一危険だから辺野古への移転が唯一という国の姿勢はあまりにも理不尽な対応です。

知事選挙をはじめとした各種選挙において新基地建設反対の民意が示されており、特に2019年2月の県民投票の結果においても72%の反対にも拘らず民意を無視され3月には埋め立てが開始されているのです。

■日米地位協定の改定

政府は50年もの長きに渡って基地問題に対して無視を続け、負担を強いている根本の要因は日米安保条約であり、その6条を受けた主権不在の日米地位協定の存在です。抜本的な改定を強く求めたいと思います。

最近読んだ伊勢崎賢治・布施祐仁共著「主権なき平和国家」の中で「主権なき偽りの『平和国家』から脱却して、『非戦の主権』を回復するためにも日米地位協定の改定は避けては通れません。」と述べられ、改定案も提示されており参考になりました。

■おわりに

沖縄復帰50年式典を見ながら、平和の問題は外交・安全保障との関係における日本の主権・人権・環境の問題であると強く感じました。

平和の達成に向けては軍勢力増強による“力には力”ではなく、また過剰な米国依存による抑止ではない方向を模索すべきと思っています。

米国の顔色を見ながら言いなりの日本の外交は心もとない限りですが、外交力の強化によりアジア諸国との多国間の安全保障の枠組みを考えて平時の抑止を求める必要があります。

最後に沖縄県民の不条理な基地負担を国民的課題として、その解消に向けて「気持ちと選挙」で連帯したいと思っています。

サークル活動報告

SDGs ウォーク

地球環境に学ぶサークル

小田原 一博

「地球環境に学ぶサークル」では4月26日に「SDGs ウォーク」と称してカルチャーパーク散策と東部クリーンセンター見学を実施しました。

1. カルチャーパーク散策

所沢市の自然環境保全型の公園で、28,000㎡の広大な面積にキャンプ場、バーベキュー施設、雑木林の中の遊歩道、金ラン・銀ランの花、巨大な滑り台等、大人から子供まで楽しめる所沢の新名所です。



2. 東部クリーンセンター見学

所沢市の東半分を担当する清掃工場で、センターの説明を受けた後、施設を見学しました。以下主な特徴です。

(1) 焼却ごみ

家庭から出た紙ごみ、生ごみを24時間体制で炉に投入し焼却している。

(2) 不燃・粗大ごみ破砕機で裁断後、磁力や風力で選別。アルミ、鉄はそれぞれ圧縮して塊として

再利用、ガラスは道路舗装材に利用されている。

(3) プラスチックごみ

プラごみマーク付で、かつ汚れていないものを圧縮し再利用に回している。汚れたプラごみは手作業で選別され焼却ごみに混ぜて焼却している。

(4) 燃焼排熱の利用

排熱でタービンを回し最大5000kw発電。発生電気はセンターの稼働、照明、空調等に使い、余れば「ところざわ未来電力」に販売している。

(5) ゴミ収集車電気自動車のごみ収集車が導入され、センターで発電した電気ですべて走っている。今のところ一台のみ。



3 グループ学習の展開

傍聴席 石堂 智士



傍聴席は、昨年上半期をほとんどコロナ休会としました。昨年10月からはコロナ以前に戻り、毎月第三月曜日に定例会を開催しています。今までの反省を踏まえて、講義方式の聞くため会合から、参加した会員が意見交換できる（みなさんの顔が見える）会議方式に変更し、参加者多数が関心を持てるように、3グループ学習を導入しました。テーマは、21提案から整理し、3つの「地球環境問題」G、「地域公共交通（高齢者問題）」G、「市議会（その他）」Gにしぼりました。また、定例会のほかにグループ学習会が行えるように改めました。

1月は3グループ分けを行いました。2月からグループ学習が始まり、地域公共交通Gは1年の予定を討議し、市議会Gは政策討論会（議会基本条例一部改訂説明会）に参加しました。また、会員から財政学習の提案があり、本「市民から見た所沢市の財政」を余った時間で学習することにしました。3月は市議会Gの「議会基本条例」学習と財政学習「昭和30年代40年代の人口増加と街の発展」「全国の財政比較が可能な決算カード」を学習。4月は地域公共交通Gが「地域公共交通政策の国の枠組みと所沢市の取組」について、制度概要から「ところバス」「ところワゴン」の現状まで詳細な説明を行いました。参加した会員からの「地域別の1キロメートル圏内人口と高齢化率」研究の発表もありました。5月は市議会Gが「傍聴のイロハ」説明と財政学習「歳入・歳出（の句的別・性質別）」を学習しました。

説明後の質疑応答が活発に行われ、今後の3G学習の進展が楽しみです。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

6月24日(金)国立能楽堂 11:00～ 能楽鑑賞
 7月14日(木)中央公民館6又は9号室 13:00～13:30 準備・受付、
 13:30～15:30 竹内先生, 西行山家集④ 15:40～16:45 例会等、
 17:00 解散
 8月 休会

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

6月15日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: 渡邊晴雄氏による「九寨溝・黄龍旅行記」
 7月20日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: 未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

6月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
 「明日の記憶」DVD視聴 若年性アルツハイマーを題材にした感動
 ドラマ 渡辺謙主演
 7月27日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
 テーマ未定

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

6月14日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
 プッチーニ歌劇「トゥーランドット」
 7月12日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
 ミュージカル「ボヘミアンラプソディー」

5. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

6月23日(木)10:00～13:00 中央公民館調理室
 「本場の水餃子作り」講師 劉さん
 6月28日(火)10:00～13:00 ふらっと会議室 「お菓子作りの極意」
 モアオシイ パティシエ 高浦智氏
 7月26日(火)10:00～13:00 とことこ農園見学 (9:50 小手指駅集合)

6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

6月21日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館
 定例会: 「脳にだまされるな、環境危機とどう向き合う」討論会
 7月1日(金)10:00～12:00 新所沢東公民館
 読書会: 「二酸化炭素によって地球が温暖化は…デマ」 広瀬隆著

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

7月13日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室3号
 定例会 テーマ「われわれの2025年問題とは？」—終活編—
 〈スマイルパイレーツの練習日〉見学大歓迎!
 6月11日(土)13:30～16:00 中央公民館3階 学習室8・9号
 6月25日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

6月9日(木)13:00～15:00 新所沢公民館6号室 定例会
 6月21日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 6月24日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 7月3日(日) 市大ファーム夏の収穫祭 (於: 陽子ファーム)

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (粟屋 貴夫 090-2746-9840)

6月16日(木)9:30～12:30
 所沢の文化と歴史の中心・旧町めぐり (三上氏ガイド)
 7月7日(木) 市民大学27期グループワーク発表会
 7月21日(木)13:00～15:00 中央公民館 (予定)
 出前講座「マチごとエコタウン所沢をめざして」

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

6月18日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
 シェイクスピア戯曲「冬物語」松岡和子訳の朗読
 7月2日(土)、7月30日(土)は未確定ながら同内容での予定

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

6月14日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「浮草」(84年) 大映へ鷹次郎・京マチ子 共演
 6月28日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 洋画「レインマン」(88年) ダスティ・ホフマン・Tクルーズ
 ～上映時 お茶・コーヒーとツマミ お楽しみ～

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

6月27日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館・多目的室3号
 内容: フラワーアレンジメント 講師: 安田好子氏 (当会員)
 「自作の花器や様々な器に生けてみよう!初夏の花々」
 7月25日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館・多目的室2号
 内容: 「認知症ゲーム」体験 講師: 志寒浩二氏 (介護福祉士)

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

6月20日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
 グループ活動報告: 市議会G「市議会の現状(体験)」1時間
 残り時間 財政学習: 自治体の健康診断など
 7月20日(水) 7月例会「地域公共交通」出前講座

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

6月17日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館 定例会
 ① 第3回民話の由来地めぐりの反省会
 ② 「弘法の三ッ井戸」「とんぼの宿り木」の録音確認
 7月15日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館 定例会
 「ところざわ倶楽部まつり」へ向けての演目確認と読み合わせ

理事会報告

◆ 5月9日(月)15期第6回の理事会を開催しました。
 今後の事業予定
 ① 7月1日・8日の両日、新所沢公民館ホールで開講される「文芸・
 歴史講座」のチラシ配布と受講者募集が開始しました。
 ② 8月17日(水)14:00～15:30 時局講演会 中央公民館ホール
 「音楽家から見える今の世界」講師 作曲家 笠松泰洋先生

③ 9月29日(木)「第2回ところざわ倶楽部まつり」開催決定

報告事項

① 市民大学28期生の入会勧誘に向け、活動を開始しました。
 ② 食を通して所沢を知る会の活動に対し、NPO法人フードバン
 クネット西埼玉より、「感謝状」が贈呈されました。
 ◆ 6月13日(月)第7回理事会 新所沢東公民館 講堂

みんなの広場 第40回

地球環境に学ぶサークル 森野 辰夫

《ウクライナ戦争に想う》

今毎日 TV で目にするのはウクライナ戦争の悲劇である。世界の多くの人々がこれほどの悲しみに見舞われたことはかつて経験したことがない。人間の愚さを感じる。改めて戦争について考えてみたい。この戦争を引き金に軍備増強とか憲法改定など議論も出ている、ある人は今の日本を戦争前夜とも言っている。

アフリカの女性開放に尽くしノーベル平和賞を受賞したデニ・ムクエグの “沈黙は共犯” という言葉を思い出した。

若者の街頭署名等のニュースも目にする。今自分が何が出来るだろう、救援基金へ “寄付” することぐらいしか思いつかない。友人と話して自己満足に過ぎないがせめてもの意思表示として車にウクライナの国旗を掲げて走っている。

先日ウクライナの “ナターシャ・グジー” という歌手の演奏を聞いた。民族楽器バンドウーラを弾きながらの澄んだ歌声・合間の祖国を思う悲しみと愛に満ちた静かな語り口は異次元の世界に引き込んでくれた。

改めて戦争への道は食い止めなければと思う。



むさし野俳句会 (令和四年七月) 作品集

受診者のあふるる初夏の神経科	中嶋 弘子	手をつなぐ五大家族に新樹光	小林 貞夫
この泥は槍か穂高か登山靴	橋本 佑子	玉砂利に足を取られて古都緑雨	小林 典子
LAWSONのLの字の角つばめの巢	平栗 彰子	山砂利の混じる瘦畑甘藷植うる	佐藤 八郎
青空を隠す万緑奥深し	宮本 信生	春風の絵馬を労ひ去りにけり	白神 恵子
白牡丹煌めく光纏ひけり	荒幡千鶴子	佇めば中へどうぞと薔薇の庭	高梨 千代
花は葉に妻と映画の帰り道	井出 昇	憲法記念日不安だらけの地球かな	鈴木 征子
そこここ狭山新茶ののぼりかな	海老澤愛之助		

むさし野俳句会「も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 佐藤(八) 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

《編集後記》

ウクライナで戦争が始まって以来、心の騒めきを感じない日はない。ある日、家の前を通り過ぎていた小3位の男の子が引き返ってきて「こんにちわ」と走り去った。思いがけないその行動に「こんにちわ。あいさつありがとう」と返した。

日本の子ども人口は減少傾向が続いています。理由は「生活の中で子育てしにくい」「子連れだと邪魔者扱いされ孤独感がある」が大との事です。確かに「赤ちゃんの泣き声がうるさい！」の声は多く耳にします。

京都府は昨年から『泣いてもかましまへん!』キャンペーンを開始し「子育て中の方々に対して社会全体で暖かく見守り支えていく」を『見える化』していると聞きました。

未来を担う赤ちゃん、子ども達が安心して育ち住める地域社会になるよう、暖かい思いやりの気持ちを持ちたいものです。(浪間:記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳 (七十四) 作品発表 選 中島峯生

課題「好き」

女将さん好きと言えずに店じまい
席替えて好きな男子と並ぶ運
若い時そつとつぶやく大好きよ
聞かれれば何と言っても妻が好き
君だけが僕の宝と云った日も
ドンマイと言われただけの一目惚れ

突拍子
りんご好き
海さとり
詔 笛
庵 閑子
どうし

「自由題」

平和ボケ明日は我が身のウクライナ
触れない落とすなマスクのごみ拾い
歩いたぞやっぱり飲もう生ビール
薄い服付いたお肉をどう隠す
庭弄りあれこれ咲いて目が回る
レストラン食後かならずマスクする

縄文人
りんご好き
庵 閑子
どうし
突拍子
詔 笛

次回 (第75回) 課題「おもちゃ」そして「自由題」
締切り日: 6月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161